



# 大浜小だより

令和3年度 第2号

令和3年5月31日(月)

玉名市立大浜小学校

校長 内田 雅三

## 雨のシーズンが到来する中、驚きの発見がありました!

これも地球の温暖化が進行していることの証(あかし)なのでしょう、今年は例年より3週間ほど早い梅雨入りとなりました。そして、5月の20日と27日には、玉名地方に大雨警報が発令されるなど、災害が心配される状況が生じています。そのため、今後も天気予報をこまめに確認しながら、場合によっては子供たちの登校や下校について、状況に応じた適切な判断をしていかなければならないと考えているところです。



本校の子供たちはというと、雨の朝には右上の写真のように傘やレインコートや長靴等で雨対策をしながら登校したり、雨が降っていない日でも下校する頃に雨の予報が出ている場合は傘を持って登校したりと、天気を意識した適切な対応を見せてくれています。

そんな中、雨の日の登校の様子を見ている際に驚きの発見がありました。もしかしたら玉名地区の学校では当たり前のことなのかもしれませんが、少なくともこれまで私が勤務してきた学校では目にすることがなかったことです。(玉名地区での勤務は今回が初めてです)それは、ほとんどの子供が傘を昇降口の傘立てに入れる前に、左の写真のように傘についた水滴をしっかりと振り落とし、きれいに巻いてから入れていたことです。入学したばかりの1年生もしっかりできていました。ですから、傘を入れた後の傘立ても下の写真のようにすっきり整っています。



これを見たときには、正直なところ驚きを通り越して感動すら覚えました。これは、子供たちの吸収力と実践力の高さ、そして「教える」ということの意義と効果そのものだと思います。同時に、このような子供たちに校長として関わることができる喜びを改めて実感した次第です。また、だからこそ、本校の子供たちの力をさらに高めるためにできることを精一杯考え、実践に繋げていかなければならないと肝に銘じているところです。

## 1人1台タブレット活用中!

コロナ禍の影響で、国のGIGA構想による1人1台タブレットの配置が急速に進められ、本校にも昨年度末までに全児童と職員分のタブレットが配置されました。今年度に入ってから、各学年の授業の中でこのタブレットを活用した学習活動が積極的に行われています。先日の5年生の理科では、天気に関する学習の中でタブレットを使ってインターネットの天気予報等を見る活動が行われていました。



時代の変化とともに子供たちの学び方や学習に使うものも大きく変わってきています。このタブレットも、多くの場面で活用されることで、大きな効果を生むものと期待しています。

## お世話になりました!!

本校の敷地には数多くの樹木が植えられていますが、毎年この時期には毛虫等が多く発生し、児童の安全を脅かします。そのため例年、PTA活動の一環として保護者による消毒作業を行っていただいています。



今年も、PTA会長をはじめ計6人の保護者の方々に敷地内のほぼ全ての樹木への消毒をしていただきました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

大変お世話になりました。

本校のホームページをスマートフォン等で見やすいレイアウトに変更しました。記事等も随時更新していますので、ぜひアクセスしてみてください。